switch

mother & daughter

親と娘の未来発見マガジン［スイッチ］

18

2014 Summer

季刊

特集

在学生が職場訪問&インタビュー
「～行ってきました！～企業訪問」

先生インタビュー／先生の原点と現点
時里 奉明先生・橋本 嘉代先生

先輩たちのリアルボイス
県人会編

story of great women
今、私がいる場所／娘の思い、父の思い。

筑女生が作るページ／クラブサークル紹介
バドミントンサークル&漫画研究部

特集 在学生が職場訪問&インタビュー!

～行ってきました!～企業訪問

メディア:電通九州　環境:シャボン玉石けん　ビジネス:日本通運

2015年4月に新設する現代社会学部の
3つのコース(メディア・環境・ビジネス)の分野について、
企業としての取り組みや将来ビジョン、
働く際に必要とされるスキルなどを伺いました。

企業DATA #01

電通九州

福岡本社を拠点に九州内6支店をもつ広告会社。国内最大手の電通グループのノウハウと地域に密着したフットワークで多様な広告・サービスを展開する。

Q. お仕事の内容について教えてください.

A.　お客様のニーズに合った広告の提案をはじめ、データベースの提供なども行っています。

私の部署ではインターネット広告やウェブサイトの構築などを行っています。単に広告枠の販売だけではなく、売り上げの拡大や商品・サービスの認知など、クライアント様のご要望や課題に合わせて効果的なプランを提案しています。また、サイトを閲覧した人の性別や年代、居住地など、新聞やテレビなど他の媒体では入手しにくいデータもウェブでは数字となって見えますので、そのデータベースの提供なども行っています。

Q. さまざまなメディアがありますが、広告ではどのように活用されていますか?

A. SNSや動画のほか日々進化するシステムを使って今までにない広告展開が可能になっています。

最近はfacebookやLINE、TwitterなどのSNSや、YouTubeなど動画と連動した広告展開も多いですね。システムもすごく進化して、検索したキーワードやSNSの登録データ、サイトで見た商品を分析して、その人に合った広告を瞬時に判断して出しているんですよ。例えば、興味がある商品を見て他のサイトに移動したら、端にある広告枠に関連した商品情報が出てくるなど、購買意欲をかき立てたり、欲しいジャンルの広告を打ち出すことで、この商品も良いなと思ってもらえるよう態度変容を促す手法もあります。新しいメディアが生まれては消えていく世界なので、日々勉強は欠かせません。

Q. この業界で女性はどのように力を発揮できますか?

A. 広告業界は女性の感性が生きる分野です。産休後に復帰する女性社員もたくさんいますよ。

ネットの進化に伴い、働き方の選択肢も広がると思います。ネットがつながる環境であればどこにいても仕事ができますからね。弊社でも産休や育休をとって復帰している女性社員がたくさんいますよ。特にこの業界は女性の感性が生きる分野なので、活躍の場も多いと思います。

Q. 将来的にインターネット広告はどうなりますか?

A. 広告媒体の中でも今後一番伸びると思います。

アメリカではネット広告費がテレビの広告費を抜いたそうですが、日本でも数年後にはそんな時代がくると思います。広告といえば新聞や雑誌、テレビなど既存のメディアを連想されるかもしれませんが、ネットは今後一番伸びる分野です。例えば、お店に入った瞬間、その人のスマホにクーポンが配信されたり、自分がウェブサイトで見た広告が利用する駅のデジタル看板に連動して出てきたりなど、一人ひとりにカスタマイズされた動きのある広告も出てくるんじゃないかと予想されます。

日々進化するメディアの世界。
インターネット広告の可能性は
今後ますます広がっていきます。

廣松 茜さん
文学部 アジア文化学科4年
福岡県・筑紫女学園高等学校出身

株式会社 電通九州
松浦 麗子さん
コミュニケーションプランニング局
デジタルビジネス部
メディア・プランナー

橋本 侑紀さん
文学部 英語メディア学科3年
長崎県・活水高等学校出身

株式会社
シャボン玉石けん
前田 博昭さん
通信販売部
お客様相談室
石けんアドバイザー

企業DATA

#02 シャボン玉石けん

北九州市若松で無添加石けんを製造・販売する企業。環境モデル都市である北九州市と連携し、無添加石けんを通して環境保全に役立つ研究・活動等を推進。

人の健康にも環境にも優しい無添加石けんのパイオニアとして、新しい活用法や研究にも取り組んでいます。

Q. シャボン玉石けんは他と何が違うのですか?

A. 一番の違いは成分。食品と同じ感覚で、石けんも成分を確認して選んでほしいと思います。

当社の石けんは、石けん成分だけの無添加石けんにこだわっています。一般的に洗浄剤には、石けんと合成洗剤の2つがあります。当社の石けんは、牛脂やパーム油などの天然油脂を原料に昔ながらの製法で職人が1週間かけて作っています。一方、合成洗剤は石油などから化学合成して作られた物質が主成分になっています。商品の裏面の成分表示を見ればすぐにわかりますよ。例えば食品を買うとき、添加物などの表示を見るでしょう。石けんも肌に直接触れるものだからこそ、食品を選ぶときと同じ感覚で、正しい知識をもって選ぶことが大切です。

Q. 石けんと環境保全の関わりについて教えてください。

A. 無添加石けんを使うことが自分で今すぐできる環境対策につながります。

環境問題というと、CO_2削減など大きくとらえがちですが、一番身近な環境対策は、毎日使う洗浄剤を見直すことです。石けんは排水として流れても短期間で水と二酸化炭素に生分解されます。しかし、合成洗剤は完全に分解するまで約30日もかかる上に、少量でも水中の生物に害を及ぼすものもあります。いかに自然を汚さず守ることができるか。これが石けんが環境に優しいと言われる理由です。無添加石けんについて知ってもらうと、おのずと環境に対する意識も高まりますよ。

Q. 御社で働く方々が大事にされていることは何ですか?

A. 先代社長の座右の銘「好信楽」に、私たち社員の想いが込められています。

本居宣長の言葉に「好信楽(こうしんらく)」とあります。まず会社や商品が好きであること、目的を成すために信念を貫くこと、自分が楽しみながら取り組むことが、企業の発展につながります。大学での学びや就職活動も同じですよね。熱い想いがあれば必ず伸びていきます。

Q. 石けんの特性を生かした新しい取り組みはありますか?

A. 産官学との共同研究で石けんを使った消防車両用消火剤の製造なども手がけています。

近年では、建物の火災を消す消火剤の開発・製造など、今までにない石けんの活用法にも取り組んでいます。石けんの泡をピンポイントに噴射して消火できるので、建物が水浸しにならず、水より軽いため消防隊員の機動性なども良くなります。また、泡なので水を大量に使う必要がなく、海外の水が少ない地域でもパワーを発揮でき、環境対策にも役立ちます。北九州市は環境モデル都市として発展しています。環境にも人にも優しい無添加石けんを通して、当社も環境保全の一翼を担えればと思います。

グローバルは地球規模の視点で捉えること。物流を通して、国、人と企業をつなぎ、ともに発展するシステムを作り出します。

Q. グローバルロジスティクスはどんな部門ですか?
A. 国や物流モードの垣根を越えたビジネスをトータルにサポートしています。

グローバルとは「地球」単位で、世界全体を見る発想・視点・動きのことです。当社では海上・航空・陸上などの輸送モードや保管（倉庫）サービスなどを行っていますが、各事業部がバラバラに動いては利益が見込めません。そこで、各部門と連携して様々な輸送モード等を組み合わせ、世界4大陸・40カ国229都市480拠点のネットワークを生かし、お客様への最適化物流の提案をしています。

Q. ビジネスの効率化を促すための具体的な取り組みについて教えてください。
A. 物流コンサルタントとしてモノから資産の流れまで最適化を図ります。

当社は物流コンサルタントとして、国内外における商品の運送だけでなく、在庫の圧縮やキャッシュフロー改善提案も行います。日本の製造業者に部品を提供しているのは、ほとんどアジア諸国のサプライヤーです。このサプライヤーが製造する部品を効率的に調達するためには、物流拠点を海外に設置することが必要となります。例えば、テレビを購入したとき、段ボールの中にテレビ本体・リモコン・ケーブル・取扱説明書等が梱包されていますが、これらの商品は別々のところで作られ、現地の物流拠点に集約されて箱に詰め日本に輸送されています。この物流拠点を設置して、物流設計を最適化することにより、物流コストだけでなく余剰在庫も圧縮し、管理コストの低減や、さらに人件費の削減効果等も実現します。このように、お客様各々の最適物流をグローバルにデザインし、工程表にもとづき、企画・設計・運営を行う事業を推進しています。

Q. 社員には外国の方も多いのですか?
A. 国内外を問わず優秀な人材の確保は欠かせません。

同席しているベトナム出身のキェウ・チャンを含め、現在のチームには中国と韓国人の3名がいます。ベトナムはこれから伸びる国なので、人材の確保は欠かせません。また、韓国や中国も九州エリアは特に自動車部品関係の調達でニーズがたくさんあります。逆に、日本の女性社員で世界中を飛び回っている人もいますよ。海外の人と仕事でやりとりをする上で大切なのは知識と知恵、そして自分が主役というハート。さらに日本人としてのアイデンティティです。

Q. 九州を軸にした取り組みはありますか?
A. 九州産の青果物を海外展開する企画があります。

九州産のイチゴ「あまおう」は香港にも輸出されますが、鮮度維持のためにスピーディな航空輸送が一般的です。反面、航空輸送コストは現地での販売価格に跳ね返り、日本価格の約2倍になるため安価な米国産・韓国産に比べ販売数量が伸びません。これを解決するには新規市場の開拓と中間所得者層が拡大するASEAN諸国でのブランド化確立が必要です。当社では海上輸送で「あまおう」を輸出すべく鮮度保持のシステム構築を行っています。成功すれば輸送コストは90%近く減額でき、価格競争力の向上とともに生産者の収入拡大にも寄与できます。九州は漁業・畜産業も盛んです。この分野でも新規輸送システムの開発に取り組みたいと思います。

様々な輸送モードとシステムを駆使して幅広い輸送サービスを展開する総合物流企業。グローバルロジスティクスでは企業の物流コンサルタント業務も担う。

日本通運株式会社
園田 晃弘さん
九州グローバルロジスティクス企画
課長

グェン・ティ・キェウ・チャンさん
九州グローバルロジスティクス企画

松下 陽香さん
文学部 英語メディア学科3年
福岡県・輝翔館中等教育学校出身

企業訪問を終えて

現場の雰囲気や、お話から得た学びとは?
在学生にリアルな感想を聞いてみました!

企業DATA

#01 電通九州

働く上で大切な「意識」と「知識」を感じました。

今まで何気なくインターネット広告を見ていましたが、メディア自体に対する見方が変わりました。一番感じたのは「意識」と「知識」の大切さです。お客様のために新しい情報をどんどん吸収し、画期的なプランを提案される姿勢は、私が内定をいただいたセブン&アイ・ホールディングスの仕事にも通じると思います。

廣松 茜さん
文学部 アジア文化学科4年
福岡県・筑紫女学園高等学校出身

企業DATA

#02 シャボン玉石けん

環境に意識が高い企業は発展性が高いと思いました。

実家の洗濯用洗剤がシャボン玉石けんなので商品は知っていましたが、成分表示などはよくわからなかったので勉強になりました。自然のものを原料にした無添加石けんは、体にも環境にも良いというお話が印象に残っています。環境に対する意識が高い企業は活躍の場も幅広く、将来的にも伸びるんだなと実感しました。

橋本 侑紀さん
文学部 英語メディア学科3年
長崎県・活水高等学校出身

企業DATA

#03 日本通運

運ぶのはモノだけじゃない!幅広い業務内容に驚きました。

日本通運といえばまず引っ越しのイメージでしたが、世界中で展開されている幅広い仕事内容にびっくりしました。キャッシュフローのシステムはとても斬新で、効率化など企業のニーズに応える姿勢や、発想力の大切さなど学ぶ事が多かったです。運ぶのはモノだけじゃないと、気づくことができた貴重な体験でした。

松下 陽香さん
文学部 英語メディア学科3年
福岡県・輝翔館中等教育学校出身

橋本 嘉代先生
現代社会学部 講師 就任予定
文学部 英語メディア学科講師。出版社やIT企業での勤務経験を得て現職。

希望の仕事でHAPPYに働くためには、熱意・スキル・ニーズのバランスが大切です。

企業を知名度やイメージだけでとらえて詳しく調べなかったり、憧れているだけで仕事に必要な力がついていない状況では、就職はスムーズにはいきません。仕事は「やりたい」という熱意、その仕事を「できる」というスキル、その仕事が世間で「求められる」ニーズの3つがそろったときに職業として成立します。大学でITや英語など様々なスキルを磨いたり、今の社会ではどのような商品やサービスが必要とされているのかを把握する力を養うことが大切です。そして、熱意。自分が好きと思えることは、頑張るための原動力としてやはり大切。5年後・10年後にどんな自分になりたいか、早い段階から視野に入れると、大学での学びもきっと変わってくると思いますよ。

聞かせて、
先生の研究ストーリー

大学で学ぶ歴史は、
人間臭さを感じ、
立体感があります。

時里 奉明先生

（文学部長／文学部日本語・日本文学科 教授）

profile
九州大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学（文学修士）。（財）西日本文化協会福岡県地域史研究所で『福岡県史』近代の編纂を担当。研究テーマは、近代日本と八幡製鉄所。地域史、近代化遺産も関心がある。主な著作『北九州の近代化遺産』（2006年、共著）、「官営八幡製鉄所創立期の住宅政策」（『経営史学』2011年）など。

歴史に埋もれていた人物を大学時代の演習で発見

子どものころから歴史が好きで『歴史読本』を読み、日本の城のプラモデルを作っていました（笑）。そのうち歴史なら一生楽しんですごせると思って、大学も専門的に学べるところに。教員、歴史雑誌の編集者、博物館など、将来は漠然と歴史に関わる仕事がしたいと思っていました。大学時代、近代史の先生が日本の戦時期の体制を「ドイツやイタリアと同じファシズムと呼んでいいのか」と言われて。それまで教科書にも載ってて当然と思っていたから衝撃でしたね。表面的な知識をなぞってわかった気にならず、当時の政治や社会、文化など、史料や記録を自分で確認することが重要だと。学問は疑問を持つことが大切だと気づき、その先生に学びたいと近代史を選びました。

今の研究テーマに出会ったきっかけは、大学の演習で福岡県の衆議院議員選挙を分析したときです。第1回目の普通選挙（昭和3年）の記録や新聞記事を調べていると、浅原健三という労働運動家が出てきました。労働者や農民を母胎とする無産政党の代表ですが、2回連続で当選したのは全国では浅原だけ。そもそも無産政党の衆議院議員が少なかった中で、浅原はかなりの支持を得たんです。でも満州事変がきっかけで3回目は落選してしまう。その後、なぜか石原莞爾という満州事変の首謀者のスタッフに。石原のせいで落選したようなものなのに、彼に心酔して転向したんですね。また、浅原は大正9年に八幡製鉄所の争議を指導して運動家の道に入ります。浅原という歴史に埋もれた面白い人物を発見し、八幡製鉄所の争議を調べるうちに、労働者や地域社会を研究の対象とするようになりました。

固定観念を捨てると違う面白さが見えてくる

八幡製鉄所の福利厚生は、住宅や病院、娯楽施設まで幅広く揃い、従業員向けの雑誌「くろがね」や文化サークルもありました。さらに、小学校や購買会も。最近ではスーパーで「くろがね羊羹」や「堅パン」を見かけますが、もともとは製鉄所の購買会で従業員向けに作ったものでした。福利厚生は日本伝統の家族主義とされていますが、地域社会や生活文化まで作り出す背景には、企業側が技術や労働力の流出を防ぐ目的もあります。また、外国の福利厚生を選択して取り入れて来たプロセスを見ると違った観点からの検証もできます。

歴史は丸暗記で平面的な感覚になりがちですが、大学で学ぶ歴史はふくらみと奥行きがあって、立体感があります。歴史上の人物の人間臭さも感じます。なぜ歴史を学ぶかといえば、時代による文化や価値観の違いをふまえ現代が絶対ではないことを理解する、つまり現在を相対化することにあるでしょう。筑女で歴史の面白さに触れてください。

出前講義テーマ

「鉄は歴史を動かす!」

日用品から自動車まで私たちの身の回りに溢れる鉄。一方、鉄で作られる戦艦や戦闘機は人類が築いてきた文明を破壊するなど、功罪をもたらし続けます。これまでの鉄の歩みを振り返りながら、歴史の醍醐味を感じてもらえたらと思います。

先生との出会いが Turning Point ターニングポイント

大賀 美紀さん
文学部 日本語・日本文学科4年
山口県・豊北高等学校出身

博物館や門司港レトロへの授業など楽しみながら歴史を学べます。

先生は近代史だけでなく歴史全般に精通していらっしゃり、授業も写真や映像などで楽しく進めてくださいます。また、お互いに高杉晋作ファンなので、いつも話が盛り上がります。門司港レトロや博物館など歴史を身近に感じる課外授業もあり、私も自ら積極的に展示会へ行くようになりました。

橋本 嘉代先生

（文学部 英語メディア学科 講師）現代社会学部 講師 就任予定

profile
上智大学文学部新聞学科卒業後、㈱集英社で女性誌編集者として勤務。お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程（ジェンダー学際研究専攻）単位修得退学。修士（社会学）。平成26年4月より現職。研究テーマはメディアとジェンダー。著作に『雑誌メディアの文化史』（共著・森話社）など。

仕事で感じた問題意識から大学院への入学を決意

大学時代はバブル全盛で、田舎から東京に出てきた私はダサくて地味で思ったこともうまく言えなくて、時流に乗れてませんでした。英語も得意だと思っていたけど、周りには帰国子女が多くて、レベルが違う。でも、新聞記者の先生が担当する「論文作法」という授業があって、毎週800字の論作文を書くものですが、これだけはマルをもらえたんです。しゃべるのは苦手でゼミでは空気でしたが、書く力を磨けば突破口が見えてくるかも、と思いました。

その後、出版社に入ったものの、仕事内容が分かってなくて。原稿を書く仕事が中心かと思っていたけど、それは業務のほんの一部。しゃべる必要に迫られる場面が多くて、だいぶ話せるようになりました（笑）。

女性誌の編集に携わり、読者が何を求めているのかを常に考えるようになってから、世の中の人の意識（社会意識）とメディアの関係性に目が向くようになりました。たとえば、70～80年代に創刊された雑誌の多くはファッション誌ではなく、女性に新しい生き方やライフスタイルを提案していました。でも、90年代以降は女性のライフコースや価値観が多様化し、万人向けに「新しい生き方」を提案することは困難に。自分が選んだ、あるいは好ましいと思う生き方を肯定してくれる雑誌を読者が選ぶ、という傾向が出てきました。そういった変化にふれ、社会における、メディアの役割や機能への興味が強まり30代半ばで大学院に入学しました。

出産・育児の経験からジェンダーもキーワードに

それまで、子どもを育てながら雑誌の仕事をしていましたが、出産・育児期のワークライフバランスの困難に直面したことは、ジェンダーを研究のキーワードにするきっかけになりました。雑誌以外ではSNS利用が育児期の女性の孤独感やストレスを緩和したり父親の地域活動参加を促進させる可能性を検証したり、育児・介護などの家庭責任と仕事の両立に関する調査に携わっています。

2015年に新設される現代社会学部は、現代社会のさまざまな現象・事象とその本質を理解する力を養う場です。社会の変化のスピードが早く情報過多の時代なので、さまざまな情報の真偽を見極めるリテラシーやデータにもとづいた分析力を持つことは強みになります。

若い世代の人には、何か得意なことを見つけて、自分の可能性を引き出してほしいですね。苦手分野があっても「私、○○な人間だから××は無理！」とか言わず、とりあえずやってみるのがおすすめです。私もそうでしたが、慣れて平気になったり意外と向いてたってことは結構あるので。「私はこんな人」という自分像は、理想の形に近づけながら何度でも書き換えていけると思います。

出前講義テーマ

「誰もが発信者！激変期の出版メディア」

紙に代わりデジタル機器の画面で本や雑誌、マンガなどが読めるようになり、読書空間や読書形態が大きく変化しています。また、情報発信するための技術や環境が整い、誰もが作家や出版社のように発信することが可能に。グーテンベルク（15世紀に活版印刷技術を発明）以来の出版革命といわれる状況下の現代における「出版」の意義や可能性とは？

先生との出会いが Turning Point ターニングポイント

西川 雅さん
文学部 英語メディア学科3年
福岡県・筑紫女学園高等学校出身

メディアでの体験談などから、取材や情報発信にも興味がわきました。

授業のテーマに合わせて、先生が以前勤めていらっしゃったメディア系の職場での体験談をたくさん語ってくださいます。先生の授業で、自分自身で取材し、発信することに興味を持ちました。情報を発信するにはまず受信からと思い、いつもさまざまな事柄にアンテナを張るようにしています。

先輩たちのリアルボイス 県人会編

九州エリアをはじめ、全国のさまざまな地域から学生が集まる筑女。そんな学生たちの支えになるのが「県人会」です。今回は先輩&後輩に、県人会の魅力を聞いてみました。

長崎県人会

学内イベントや学祭、野球観戦など、楽しい活動が盛りだくさんです。

先輩 **濵口 由子さん**
人間科学部 発達臨床心理コース2年
長崎県・海星高等学校出身

②学内イベントやホークスの試合観戦、学祭など盛りだくさんです。③オープンキャンパスで県外の高校生が同じ悩みを持っているんだなと感じて、寮生活や一人暮らしのアドバイスをしました。④同郷の友達や先輩が近くにいるからホッとします。県外の友達もたくさんできますよ。

新入生 **山下 憧子さん**
人間科学部 社会福祉コース1年
長崎県・猶興館高等学校出身

みんな優しく話しやすい雰囲気。誰とでもすぐに仲良くなれます。

①周りに知り合いがほとんどいなくて人脈を広げたいと思いました。②最初は堅苦しいかな?と思ったけど、先輩は優しくて面白く、話しやすくて本当に楽しい集まりです。③友達が増えたこと。ピクニックなど色々な活動にも気軽に参加できるし、楽しい思い出をたくさん作れます。

熊本県人会

地元を離れて暮らす不安や悩みを解消!みんな仲良く、安心して過ごせますよ。

先輩 **楠浦 舞子さん**
人間科学部 発達臨床心理コース3年
熊本県・人吉高等学校出身

①会長です。オープンキャンパスの手伝いをしていたら、いつのまにか県人会に入ってました(笑)。③筑女の県人会みんなで運動会!障害物競走などかなり盛り上がりました。④地元を離れて暮らす仲間が同じ想いを共有できる場です。みんな仲良く安心して筑女ライフを楽しめますよ。

とても明るく元気な先輩たちが、色々な相談にのってくれます。

①他学科や他県の人たちと交流を深めたかったから。地元の高校から筑女に進んだのは私1人だったので地元同士で集まると安心です。②先輩はとても明るく元気!色々な相談にのってくれるし、とても居心地が良いです。④各県のみんなとバーベキューやゴハンを食べに行きたいです。

新入生 **吉村 知夏さん**
人間科学部 幼児保育コース1年
熊本県・熊本マリスト学園高等学校出身

鹿児島県人会

先輩 **西垂水 菜月さん**
人間科学部 社会福祉コース3年
鹿児島県・川辺高等学校出身

イベントの企画・実行は自分たちで!社会勉強やスキルアップもできます。

①デザイン・広報局長で、イベントの広報活動や会場設営などをします。③県人会主催で美容講座を開いたとき渉外を担当しました。外部講師との打合せなど初めての経験ばかりで心に残っています。④友達づくりだけでなくイベント企画などを通して社会勉強やスキルアップもできます。

一人で筑女に進学しても大丈夫!県人会に入れば友達ができます。

①私と同じように県外の人たちと交流したかったから。③たとえ一人で筑女に進学しても県人会に入れば友達ができます。最初は不安だけど、優しい先輩方のおかげで寮生活や一人暮らしの楽しさ&大変さを分かちあえます。④定期的に集まってみんなともっとおしゃべりがしたいです。

新入生 **藤嵜 春香さん**
文学部 英語学科1年
鹿児島県・鹿児島南高等学校出身

先輩へのQuestion!

①県人会であなたの役割は？
②どんな活動をしているの？
③楽しかった思い出は？
④ズバリ！県人会の魅力とは？

後輩へのQuestion!

①県人会に入ろうと思った理由
②雰囲気はどんな感じ？
③入って良かったと思うことは？
④県人会でやってみたいことは？

その他の県人会

先輩
中村 有美さん
人間科学部 幼児保育コース2年
福島県・福島東高等学校出身

環境の違いや友達がいないなど不安をまるごと解消できます。

②所属する県人会ごとに球技大会や食事会などもやっています。③学祭で各県の食材をとりいれたオリジナル料理を出しました。沖縄のサーターアンダギーに鹿児島のサツマイモを入れるなど、メニューづくりも楽しかったです。④環境の違いや友達がいない不安も全部なくなります！

先輩たちのアドバイスを聞いて活動にもやる気がわきました。

①活動が充実していて楽しそうだったから。②歓迎会ではおいしいスイーツを囲んで和気あいあい。明るい雰囲気です。③先輩たちに大学生活の具体的なお話を聞いていると、自分のやりたいことを何でも実現できそうだと思いました。サークル選びのアドバイスも聞けて良かったです。

新入生
稲田 愛貴さん
人間科学部 幼児保育コース1年
石川県・金沢桜丘高等学校出身

太分県人会

県外出身だけでなく、学生同士のタテのつながりも強くなります。

先輩
都知木 海宇さん
文学部 日本語・日本文学科3年
大分県・中津北高等学校出身

①書記局長と大分県代表です。②筑女は県外出身も多いので学生同士のつながりを強くするのが目的。一般の学生も巻き込んで講座や太宰府のイベント参加も計画中です。④先輩＆後輩のタテのつながりができたこと。個性豊かな会員が多く、色々な考えを吸収することができます。

地元トークで盛り上がったり、他県の良さも知ることができます。

②新入生歓迎会はとても楽しく、先輩や他の学科の友達もできました。イベントが多いので、充実した大学生活を送ることができると思います。③同じ県の人たちと地元トークで盛り上がり、あらためて地元の良さを実感。また、他県の良さも知ることができました。④ボーリング大会！

新入生
挾間 千佳さん
人間科学部 初等教育コース1年
大分県・大分南高等学校出身

宮崎県人会

ボランティアなど学外活動も満載。アットホームで心強い団体です。

先輩
吉田 織江さん
人間科学部 初等教育コース3年
宮崎県 都城西高等学校出身

①会計局長です。②東日本大震災募金活動や「すいとうよ福岡」というイベントに県人会で出店するなど、学内だけでなく学外での活動にも参加しています。④アットホームな団体で一人暮らしなど困ったときの相談もできるからすごく心強かったです。筑女に入ったらぜひ県人会へ！

学年や学科を越えて仲が良く、とってもフレンドリーです。

①県人会の歓迎会がとても楽しくて参加しました。②学年や学科を越えて他の県の人たちとも仲良くなれます。とにかくフレンドリーで、県人会全体の雰囲気がすごく良いです。④みんなで旅行をしたいです。各県に遊びに行って、それぞれ出身の友達にガイドしてもらいたいと思います。

新入生
太田 有美さん
人間科学部 幼児保育コース1年
宮崎県・宮崎南高等学校出身

今、私がいる場所

卒業生から筑女を目指すあなたへエール

人との出会いやふれあいから心のエネルギーが満タンになり、もっと頑張ろう！と元気が湧きます。

内藤 裕子さん
株式会社KBC映像 制作進行
1988年 短期大学部 家政科卒業
福岡県・筑紫女学園高等学校出身

制作進行はアシスタントプロデューサーとも言い、出演されるタレントさんのケアが主な仕事です。出演者の方に楽しく撮影して頂くことを一番に心掛けています。KBC「アサデス。」で平野レミさんの「デリバリキッチン」の後、今は前川清さんの「笑顔まんてんタビ好キ」を担当しています。料理が好きで家政科に進みましたが、この業界で働くとは考えていませんでした。それが「ドォーモ」のアシスタントになったのがきっかけで、いつのまにか20数年（笑）。料理番組の制作など家政科での学びも今につながっています。この仕事の魅力は人との出会いです。ある日、平野レミさんの「1日3食。あと何回食べられると思う?」という言葉に、食生活の大切さと食材への感謝の思いをあらためて感じました。憧れの人の料理や考え方を間近で学ぶことができたのは、何にもかえがたい財産です。人とふれあうことで、心のエネルギーが満タンになります。筑女で出会った先生や友人、同窓生、仕事関係まで、節目節目で本当に良い出会いに恵まれているなと感謝しています。

娘の思い、父の思い。

―― 筑女にまつわる親子の対話 ――

筑女は本当に温かい人たちばかり。学び、サークル、ボランティアなど色々なことに安心して挑戦できます（娘）

娘 CMの「二十歳は筑女で」というキャッチフレーズが印象的で、筑女で大学生活を過ごしたいと思いました。どんなときにも親身に相談にのってくださる先生方や、食堂など学内の職員の方々はいつも優しく声をかけてくださり、本当に温かい人たちばかりです。今、熱中しているのは、手話サークルとボランティアです。どちらも大学生になって初めての経験で、学べることがたくさんあります。授業はもちろん、ボランティアの現場で、もっと話を聞いたり、手話検定にも挑戦したいと思います。将来の夢は多くの人たちの力になれる社会福祉士になること。私がやりたいと思うことを支えてくれる両親には感謝の気持ちでいっぱいです。

父 校訓を見たときは固いイメージでしたが、娘から大学の話を聞いて、すべて自分一人でしなければならないのではなく、色々な情報やチャンスを与えてくれる温かみのある大学だと思いました。娘は勉強をはじめ、さまざまなことに興味を持つようになりました。自主的にサークルやボランティアに参加することで人との関わりが増え、視野が広がったように感じます。学内でも学生たちが気軽に参加できるボランティア活動を提示されていることは素晴らしいことです。娘には多くの人と出会い、学び、自分自身を成長させてほしいと思います。そして、少しでも人の傷みを理解できる思いやりのある女性になってほしいと願っています。

夢を実現するために色々な経験をして一歩一歩、前進を!

いつもありがとう。これからも応援よろしくね!

娘 **田原 莉茄子さん**
人間科学部 社会福祉コース2年
福岡県・筑紫高等学校出身

父 **田原 康孝さん**
母 **田原 直江さん**

クラブ・サークル紹介

筑女ではキャンパスライフをもっと充実させる
クラブやサークルがたくさんあります！
スポーツ系・文化系どちらも個性のある部ばかりです

今回の紹介
- バドミントンサークル
- マンガ研究会

本気で遊ぶ部活動

体育系

バドミントンサークル

Q. 活動曜日と時間帯は？
A. 第2月曜、第3水曜、第4金曜日の16~19時です。体育館の使用状況などにより、実際は月に1回くらいです。

Q. 部員構成は？
A. 1年生3名、2年生2名、3年生6名です。4年生は引退していますが3名です。

Q. クラブのモットーは？
A. 楽しく活動する！！

バドミントンを楽しみ、みんなで仲良く活動することが目的なので、ほぼ遊びとして活動しています。でもその遊びを本気でやります。バドミントンのシャトルは競技用のものを使い、遊びの中ででも競技としての感覚を養うようにしています。バドミントンはテニスより軽く、瞬発力と体力が必要で、短時間でもいい運動になりますよ。

自分のペースで活動でき、運動不足解消になります！
富田 梨那さん
人間科学部 社会福祉コース3年
福岡県・福岡工業大学附属城東高等学校出身

練習は楽しくて、気軽に参加できます。
石田 裕佳さん
文学部 アジア文化学科4年
福岡県・自由ヶ丘高等学校出身

みんな優しくて、大好き。すごく楽しいです！
中山 菜月さん
人間科学部 幼児保育コース2年
佐賀県・三養基高等学校出身

一人で入部した時は不安だったけど、すぐに仲間ができて、すごく楽しいです。
重松 英里香さん
人間科学部 幼児保育コース2年
佐賀県・鳥栖高等学校出身

漫画やアニメをこよなく愛する

文化系

漫画研究部

Q. 活動曜日と時間帯は？
A. 主に月曜～金曜の12時～18時の間で、自由に自分の都合のいい時間に部室に集まって活動しています。

Q. 部員構成は？
A. 1年生6名、2年生11名、3年生10名です。4年生は引退していますが6名です。

Q. クラブのモットーは？
A. みんなで楽しむ

漫画やアニメが好きな人が集まる、趣味の部活です。主に、好きな絵を描いたり、置いてある漫画を読んだり、好きな作品について語り合ったりしています。部内で交流誌を発刊したり、一番のイベントは文化祭で、冊子やポストカードを作って販売します。同じ趣味のみんなが集まるから話が合うし、すごく楽しい！漫画やアニメが好きな方はぜひ！

オススメは マギ・黒執事

好きなことについて、心ゆくまで話せるし、友達づくりにもなります。
田中美沙希さん
文学部 日本語・日本文学科3年
福岡県・福岡舞鶴高等学校出身

オススメは 黒子のバスケ オススメします!!

これが好き！と、自分の心をさらけ出せる場所。自分が自分でいられます。
大塚 紗希さん
文学部 日本語・日本文学科4年
佐賀県・龍谷高等学校出身

趣味が合うから、年齢は関係なく仲良くなれるし、すぐに打ち解けます。
辻 依里さん
文学部 日本語・日本文学科4年
福岡県・西日本短期大学附属高等学校出身

オススメは ジョジョの奇妙な冒険 ツバサ・クロニクル (^p^)

入部するとこんなカードももらえちゃう！

二十歳をどこで迎えるか。
女の子にとって、これって案外
大きな意味があることなのよ。
…って、母が言った。
あなたは、二十歳をどこで迎えますか？

「二十歳は筑女で。」

猪俣 更紗さん
文学部 日本語・日本文学科2年
香住丘高等学校出身

公共交通機関利用の場合

西鉄
- 二日市駅下車（太宰府方面乗り換え）太宰府駅下車 徒歩約13分
  - ・福岡（天神）駅 → 二日市駅［特急12分］
  - ・久留米駅 → 二日市駅［特急16分］ 二日市駅 → 太宰府駅［普通5分］
- 太宰府駅下車 西鉄バス「筑紫女学園大学前」下車 徒歩1分
- 五条駅下車 徒歩15分

JR
- 二日市駅下車 西鉄バス「筑紫女学園大学前」下車 徒歩1分
  - ・博多駅 → 二日市駅［快速14分］
  - ・久留米駅 → 二日市駅［快速20分］

※西鉄太宰府駅［約5分］・JR二日市駅［約15分］より、学生用スクールバスを運行（専用回数券使用／授業開講時のみ）

車の場合

国道3号線バイパス
「君畑」交差点を太宰府方面へ

2つ目の信号（「太宰府郵便局」角）
を右折
↓
太宰府天満宮方面へ直進後、
「梅大路」交差点（案内看板あり）
を右折
↓
左手「九州国立博物館」通過後、
右手正門よりお入りください

その教育 しなやかで、ゆるぎない。

筑紫女学園大学

〒818-0192 福岡県太宰府市石坂2丁目12-1
TEL／092-925-3591（入試課）
http://www.chikushi-u.ac.jp

switch
［スイッチ］

スイッチって何？　それは、自分の中に眠っているやる気や能力を目覚めさせてくれるもの。筑女では夢に向かって頑張っている人はもちろんのこと、目標がはっきりしていなかった人も、キャンパスライフの中から自分の可能性を広げるチャンスを見つけています。あなたも心に火がつくスイッチを、ここで見つけてみませんか。

表紙　足立 祐希さん　文学部 英語メディア学科4年／福岡舞鶴高等学校出身

［撮影］光明禅寺

2014.7 発行